

2019年8月15日

さんいく保育園 清澄白河 園だより



2019.Aug

Val.100

さんいく保育園
清澄白河 広報誌

〒135-0063 江東区白河4-9-25 パークハウス清澄白河タワー2階
TEL 03-3643-0319 FAX 03-3643-0327 URL <http://www.san-ikukai.or.jp>

年間聖句 見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。 イザヤ書43章19節

8月の聖句 あなたがたの救われたのは恵みによるものです。 エフェソ信徒への手紙2章5節



興味と発見は、考える力を生む



今年の夏は都内でも気温が35℃を超え、大変蒸し暑さを感じる日々が続いております。ニュースを聞くと毎日熱中症のニュースが流れ、高齢者に大きなダメージを与えているようです。十分な休息と水分補給をするなどしてこの年の蒸し暑い夏を乗り越えて行きたいものです。

さて、保育園では7月の18・19日にはと組の子どもたちとともに一泊お泊りキャンプを静岡県御殿場市にある日本YMCA同盟の施設を利用し実施いたしました。宿泊に先駆け、広々とした子どもの国の草原や岩の迷路、クモの巣ネットで楽しく活動のひと時を過ごしました。自然を生かした環境の中で虫と戯れ、地形を生かした造形物での遊びは園児達に多くの興味を抱かせるものとなったようです。また、YMCAの施設では残念ながらキャンプファイヤーは出来ませんでした。室内でキャンドを見つめ共にキャンプの意義を考える一時を持ち、翌日はクラフト(万華鏡作り)を楽しみ、大きな森に囲まれた中でのオリエンテーリングを通して協力プログラムを体験しました。このキャンプを通して子ども達は自然の恵みをおおいに味わい、共に協力をし、新しい課題に向き合う力を養ったように思います。

子ども達の成長には様々な課程があると思いますが、大人がこれから如何の様になって欲しいという思いを押し付ける物ではあってはいけないと思います。子ども達自身が様々な体験を積み、その中で自分自身が様々な発見と興味を示し、自分なりの考えを持って取り組んでいく力を養えるように大人が見守り環境を整えることが重要であると思います。子ども達の興味と発見、考える力は体験と関わりの中で育ちます。開放的なこの時期を大切にしてください。

この夏が終わり、ひとつまわり大きく成長された姿を園生活の中で伺うことができることを期待しております。

さんいく保育園清澄白河 園長 栗田 茂

～～ 8月29日には、園児引き渡し訓練を実施します ～～

例年実施しております園児引き渡し訓練ですが、本年度は9月1日が日曜日に当たりますので繰り上げ8月29日の木曜日に実施いたします。東京直下型地震や東海・東南海地震の発生が心配される中で、お預かりしているお子様を安全に確実に引き渡す訓練です。16時30分のお迎えをお願いするものです。NTTのWeb171が利用できればWeb171に情報を記載します。当日は、保護者の皆様へお流したカラーカードを持参願ひ、保護者の皆様をひとり一人確認し、お子さまを引き渡す大切な訓練です。保育者にとっても大切な訓練となりますので皆様のご協力をお願いします。

◆ 8月の各組の目標

ひよこ	1. 遊びと休息のリズムを整え沐浴や水遊び、感触遊び、汗拭きをし、暑い夏を心地よく過ごす 2. 保育者や友達と真似をしたり、同じおもちゃを使いながら一緒に遊ぶことを楽しむ
あひる	1. 水・温水・氷・寒天・絵の具等の感触に触れ、心地良さをあじわい、夏ならではの遊びを楽しむ 2. 保育者と一緒に身の回りの事を自分でやってみようとする 3. 戸外の木陰を探しながら、草花や虫等の夏の自然に触れて遊ぶ
うさぎ	1. 保育者に手伝ってもらいながら、身の回りの事を自分でしようとする 2. 保育者や友達ちと関わりながら、夏の遊びを十分楽しみ開放感を味わう
ひつじ	1. 夏ならではの遊びを十分に楽しみ、開放感を味わう 2. 衛生面に留意し、快適に過ごせるようにする
ろば	1. 保育者や異年齢児と関わりながら、夏ならではの様々な遊びを楽しむ 2. 生活に必要なことをくり返し、自分なりに考えて行う
はと	1. 夏の自然や身近な環境にふれ、試したり工夫したりする面白さを味わう 2. 友達との関わりを深め、互いの思いを伝え合いながら過ごす

※※※ 皆様へのお願い ※※※

★ 保育園の安全対策・危機管理について

保育園では毎年4月に「入園のしおり」(重要事項説明書)を保護者の皆様に配布をいたしておりますが、この中に子どもたちが健やかに園生活を送るための項目や登園を控えて戴きたい感染症についても記されております。保育園は集団生活を基本としていることから、様々な病気の感染の恐れがございます。都内では、7月に入り手足口病が流行し警報基準値を大きく超えるなどの注意喚起がなされております。お子さまの感染予防として、①こまめな手洗い。②症状が治まっても2～4週間便にウイルスが排泄されること。③タオルの共用を避ける。④咳エチケットを心掛ける。等々の予防をお願いしています。しかし、これだけでは不十分だと思われれます。ひとり一人の意識付けで園での蔓延を防止することが出来ます。同時に、子どもたちの健康管理が重要です。「前日お熱が39.5度あったが、当日は37.0度まで下がったので登園させた」等のお話しを戴きますがこのような場合は、是非お休み願ひ、家で様子を見ていただきたいと思ひます。熱が高いと熱性痙攣を起こしたりする場合もござひます。この様な場合、是非お家で一日安静にしてあげてください。安静にし、体力をつけ一日様子を見る事が病気を長引かさなひ大きなポイントです。是非、宜しくお願ひします。

★ 駐輪場のご使用についてのお願ひ

最近減災が叫ばれ久しくなっておりますが、保育園としても様々な取り組みを開始しております。その一環として皆様のご理解を得ながら園駐輪場の管理を行い、不法駐輪を無くし、登降園通路でもあります階段下(軒先を含む)の安全確保の働きをして参りました。しかしながら、以前よりは通路確保ができるようになりましたが多くの留め置き自転車や不法駐輪の自転車により身動きが取れない状況がつづいております。このままの状況を続けますと保育園児の大規模災害時での避難にも支障をきたす恐れがございます。また、避難を円滑に行えますように階段下に避難時に使用いたします立ち乗りバギーを常時留め置きし乳児の避難の円滑化を図って参りたく思ひます。

6月初旬に配布いたしました「賛育会マーク」を破棄し、再度マークを配布させていただき、保護者の方々の駐輪を朝夕の登園・降園時のみのご利用として避難経路確保を行って参りたく思ひます。

園児避難路の確保を最重点に駐輪場管理を行わせていただくこととなりますが、皆様方にはご迷惑をお掛けしますがご理解の程宜しくお願ひします。